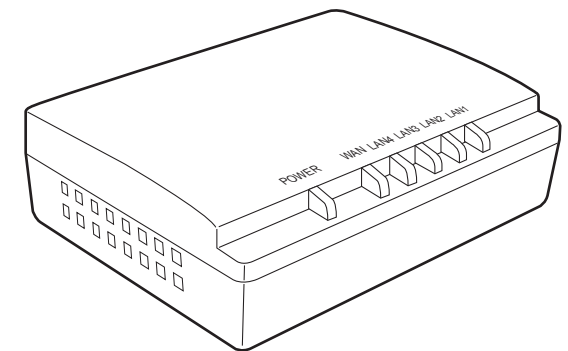
Broadband Router

100BASE-TX/10BASE-T有線ルータ

LAN-BR/4

User's Manual

このマニュアルは、別冊の「かんたんセットアップガイド」とあわせてお読みください。

●このマニュアルで使われている用語

このマニュアルでは、一部の表記を除いて以下の用語を使用しています。

用　語	意　味
本製品	有線ブロードバンドルータ「LAN-BR/4」を「本製品」と表記しています。
有線クライアント	有線LAN機能または有線LANアダプタを搭載したパソコンなどを「有線クライアント」と表記しています。

●このマニュアルで使われている記号

記　号	意　味
注 意	作業上および操作上で特に注意していただきたいことを説明しています。この注意事項を守らないと、けがや故障、火災などの原因になることがあります。注意してください。
	説明の補足事項や知っておくと便利なことを説明しています。

ご注意

100BASE-TX/10BASE-T有線ルータ

LAN-BR/4

User's Manual
ユーザーズマニュアル

はじめに

この度は、ロジテックの100BASE-TX/10BASE-T有線ルータをお買い上げいただき誠にありがとうございます。このマニュアルには本製品を使用するにあたっての手順や設定方法が説明されています。また、お客様が本製品を安全に扱っていただくための注意事項が記載されています。導入作業を始める前に、必ずこのマニュアルをお読みになり、安全に導入作業をおこなって製品を使用するようにしてください。

このマニュアルは、製品の導入後も大切に保管しておいてください。

安全にお使いいただくために

けがや故障、火災などを防ぐために、ここで説明している注意事項を必ずお読みください。

警　告	**この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などによる死亡や大けがなど人身事故の原因になります。**
注　意	**この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり、他の機器に損害を与えたりすることがあります。**

警　告

本製品の分解、改造、修理をご自分でおこなわないでください。
火災や感電、故障の原因になります。また、故障時の保証の対象外となります。

本製品から発煙や異臭がしたときは、直ちに使用を中止したうえで電源を切り、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。そのあと、ご購入店もしくは当社テクニカル・サポートまでご連絡ください。
そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因になります。

本製品に水などの液体や異物が入った場合は、直ちに使用を中止したうえで電源を切り、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。そのあと、ご購入店もしくは当社テクニカル・サポートまでご連絡ください。
そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因になります。

本製品を、水を使う場所や湿気の多いところで使用しないでください。
火災や感電、故障の原因になります。

注　意

本製品を次のようなところで使用しないでください。
- 高温または多湿なところ、結露を起こすようなところ
- 直射日光のあたるところ
- 平坦でないところ、土台が安定していないところ、振動の発生するところ
- 静電気の発生するところ、火気の周辺

長期間本製品を使用しないときは、電源プラグを抜いておいてください。
故障の原因になります。

もくじ

Chapter 1

概要編

1 製品の保証について

製品の保証とサービス

本製品には保証書が付いています。内容をお確かめの上、大切に保管してください。

●保証期間
保証期間はお買い上げの日より1年間です。保証期間を過ぎての修理は有料になります。詳細については保証書をご覧ください。保証期間中のサービスについてのご相談は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

●保証範囲
次のような場合は、弊社は保証の責任を負いかねますのでご注意ください。

- 弊社の責任によらない製品の破損、または改造による故障
- 本製品をお使いになって生じたデータの消失、または破損
- 本製品をお使いになって生じたいかなる結果および、直接的、間接的なシステム、機器およびその他の異常

詳しい保証規定につきましては、保証書に記載された保証規定をお確かめください。

●その他のご質問などに関して
P9「2. サポートサービスについて」をお読みください。

2 サポートサービスについて

下記のロジテック・テクニカルサポートへお電話でご連絡ください。サポート情報、製品情報につきましては、インターネットでも提供しております。

サポートページ　6409.jp

ロジテック・テクニカルサポート（ナビダイヤル）
TEL：0570-050-060
受付時間：月曜日～土曜日 10:00～19:00
（ただし、夏期、年末年始の特定休業日は除きます）

本製品は日本国内仕様です。海外での使用に関しては弊社ではいかなる責任も負いかねます。
また弊社では海外使用に関する、いかなるサービス、サポートも行っておりません。

テクニカルサポートにお電話される前に
テクニカルサポートにお電話される前に、以下の項目について確認してください。
◆サポートページで「よくある質問」をご確認ください。
◆「よくある質問」をお読みいただいても解決しない場合は、以下をご用意のうえ、お電話をお願いします。
・製品の型番
・インターネットの回線種類、契約会社（プロバイダ）の書類、モデム（またはCTU、ONU）の型番などインターネットに関する情報
・ご質問内容（症状、エラーメッセージ、やりたいこと、お困りのこと）

3 本製品の概要について

本製品の特長

●「セットアップウィザード」により、インターネット回線を自動判別
Webブラウザ版「セットアップウィザード」を使用すると、インターネット設定で初心者がつまずきやすい、インターネット回線の種別を自動的に判断し、自動的に次のステップへと作業が進みます。フレッツシリーズ、Yahoo!BB、CATVインターネットサービスなどの多くのサービスを自動的に判別できます。

●コンパクトな横置きタイプ。マグネットを装備し、スチール面に固定可能
コンパクトで横置きタイプです。高さがありませんので設置しても目立ちません。また、本体の底面には強力なマグネットを装備し、スチール面にしっかりと固定できます。LANケーブルを複数接続しても、ケーブルのたわみなどで本体が引っ張られたり、ずれたりしません。

●安心のファイアウォール機能とVPNマルチパススルー
初心者が安心してインターネットを楽しめるように、ファイアウォール機能を装備しています。また、VPN（PPTP, IPSec）パススルーに対応していますので、オフィスや自宅からセキュリティ性の高い安全な通信が可能です。

●音声・ビデオチャット、メッセンジャーソフトが簡単に使える「UPnP」に対応
ネットワークを利用するソフトやハードの設定を容易にする「UPnP（Universal Plug and Play）」に対応しています。UPnPを利用することで、メッセンジャーソフトを利用したり、音声チャット・ビデオチャットが簡単に楽しめます。

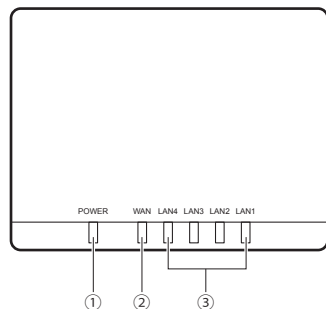
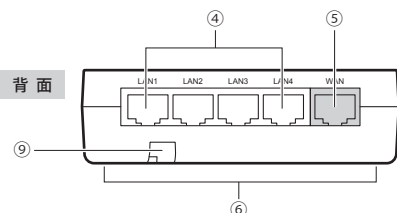
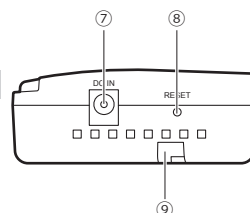
●その他多彩なルータ機能を装備
- 「DHCPサーバ機能」を搭載し、パソコン側のIPアドレス設定などが不要
- オンラインゲームなど双方向通信に便利な「静的NAT（NAPT）」に対応
- 「URLフィルタリング」「MACアドレスフィルタリング」などのフィルタリング機能を搭載
- 簡易サーバの設置に便利な「DMZ」「DDNS」を搭載。DDNSは、ロジテックの無料DDNSサーバClear-Netを利用可能
- ファームウェアを簡単にバージョンアップ可能
- 設定内容およびアクセスログの保存が可能

●EU RoHS指令に準拠
EUの「RoHS指令（電器・電子機器に対する特定有害物質の使用制限）」に準拠した環境にやさしい製品となっています。

本製品の動作環境

弊社では以下の環境のみサポートしています。

対応機種およびOS	Windows 7/Vista/XP/2000/Me/98SEを搭載するWindowsマシン Mac OS X（10.6/10.5/10.4）をインストールしたIntel製CPUを搭載したMac
対応ブラウザ （Web設定ユーティリティ）	Internet Explorer 5.5以降

4 各部の名称とはたらき

①	POWERランプ（緑色）	点灯：本製品の電源が入った状態です。 消灯：本製品の電源が切れた状態です。
②	WANランプ（緑色）	点灯：WAN側とのリンクが確立しています。
③	LANランプ1〜4 （緑色）	点灯：パソコンやネットワーク機器とリンクが確立しています。 点滅：データ転送中です。　消灯：未接続の状態です。
④	LANポート1〜4	有線LANのクライアントなどと接続するポートです。
⑤	WANポート	ブロードバンドモデムなどWAN側機器からのケーブルを接続します。
⑥	マグネット	スチール面にワンタッチで固定するためのマグネットを装備しています。
⑦	DC IN（電源ジャック）	本製品に付属のACアダプタを接続します。本製品に付属以外のACアダプタを接続しないようにしてください。
⑧	RESET（リセット） ボタン	本製品の電源が入った状態でこのボタンを押すと、本製品の設定値が初期化されます（工場出荷時の状態に戻ります）。芯の出ていないシャープペンシルなど、先のとがったもので、この穴の中にあるボタンを5秒以上押し続けると、POWERランプが点滅し、ボタンを離すと初期化が実行されます。
⑨	ACアダプタ用 ケーブル留め	ACアダプタの電源プラグが簡単に抜け落ちないように、ACアダプタのケーブルを固定しておくことができます。

5 設定ユーティリティについて

本製品の各種設定をするために、Webブラウザから利用できる設定ユーティリティがあります。ここでは設定ユーティリティのメニュー項目の構成について説明します。各メニュー項目の詳しい内容や設定方法については、該当ページをお読みください。

●設定ユーティリティを使用するには
設定ユーティリティをパソコンのWebブラウザで表示するには、本製品とパソコンを有線LANで接続する必要があります。

●設定ユーティリティの表示方法
P28「設定ユーティリティ画面を表示する」をお読みください。

メニュー項目	内容
セットアップウィザード	インターネット回線種別を選択するだけで、簡単にインターネットへの接続設定を完了できるウィザードです。回線種別が不明な場合は、自動で検出することもできます。（→P30）
管理ツール	本製品を管理するためのメニューです。装置全般（→P31）、システム（→P33）、ファームウェア更新（→P34）、設定保存/読込（→P35）、再起動（→P37）、ログアウト（→P38）があります。
WAN	本製品のWAN（インターネット）側の設定をするメニューです。（→P39）
LAN	本製品のLAN（ローカルネットワーク）側の設定をするメニューです。LAN側設定（→P43）、クライアント一覧（→P44）があります。

メニュー項目	内容
NAT	本製品のNAT機能について設定します。ポート転送（→P46）、DMZ（→P49）があります。
ファイアウォール	本製品にファイアウォール機能を設定できます。URLブロック（→P51）、MACアドレスフィルタ（→P53）があります。
その他	UPnP機能の設定（→P55）およびDDNSの設定（→P56）ができます。
ステータス	本製品のステータス情報（→P58）およびシステムログ（→P60）の確認ができます。

6 セットアップを始める前に

本製品のセットアップ作業を始める前に、以下について確認します。

ブロードバンドモデムのタイプについて

現在、プロバイダから提供されるブロードバンドモデムの中には、すでにルータ機能が内蔵されている製品があります。ルータ機能がすでにある場合は、P33「システム タブ」をお読みになり、ルータ機能を無効にしてください。4ポートスイッチングハブとしてご使用になれます。

接続事業者との契約状況を確認する

次の内容を確認してください。

①回線事業者/プロバイダと契約は完了していますか?
回線事業者やプロバイダとの契約を完了しておく必要があります。また、フレッツサービスの場合はNTTとのご契約とは別にプロバイダとの契約が必要です。

②モデムなどの機器は準備できていますか?
本製品でインターネットを楽しむためには、ADSL/CATV/光ファイバーなどのブロードバンドモデムと本製品を接続する必要があります。モデムを別途購入されるように契約している場合は、対応モデムをご用意いただく必要があります。

③回線工事は完了していますか?
回線事業者/プロバイダとの契約に加え、屋内までの配線工事とモデムの準備が完了している必要があります。すでに開通日を過ぎていることを確認してください。

④パソコン側の必要な機器は準備できていますか?
本製品の設定には、有線LANで本製品に接続できるパソコンが必要です。パソコンの有線LANポートが正常に動作するかご確認ください。
本製品は、DHCPサーバ機能を搭載していますので、パソコンには自動的にローカルIPアドレスが割り当てられます。パソコン側の「TCP/IPプロトコル」の設定は、ルータ側からIPアドレスが自動的に割り当てられるように、初期値では「自動取得」になっています。「手動設定」に変更されている場合は、「自動取得」に設定を変更してください。

インターネットの回線種別について

本製品はインターネット自動判別機能により、以下の回線種別については、自動的に判別することができます。

- フレッツシリーズなど「PPPoE」接続
- Yahoo!BB、一般的なCATVインターネットサービス
- 各種固定IPサービス

※ただし、ご使用の環境によっては、自動判別できないことがあります。この場合は、手動で回線種別を選択することになります。

●フレッツシリーズ、固定IPサービスをご利用の場合
NTT東日本、NTT西日本のフレッツシリーズをご利用の場合は、プロバイダより提供されたユーザーIDとパスワードの入力が必要になります。あらかじめ必要書類をお手元にご用意ください。
固定IPサービスをご利用の場合は、プロバイダより提供されたIPアドレスの入力が必要になります。あらかじめ必要書類をお手元にご用意ください。

Chapter 2

導 入 編

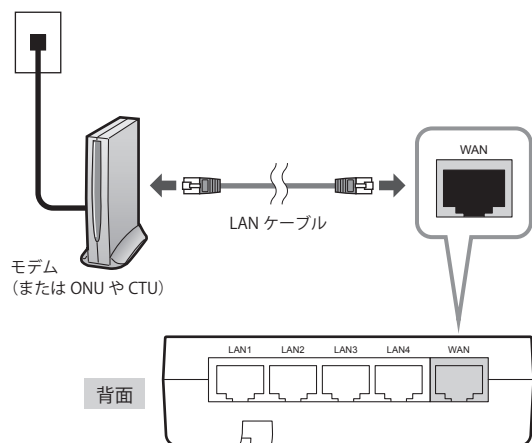
本製品の導入方法について
本製品をモデムなどとつなぐ手順や、インターネットに接続する手順については、本製品に添付の別紙「セットアップガイド」などに、わかりやすい説明があります。
「セットアップガイド」の説明書が見つからない場合は、ロジテック ホームページからもダウンロードできます。

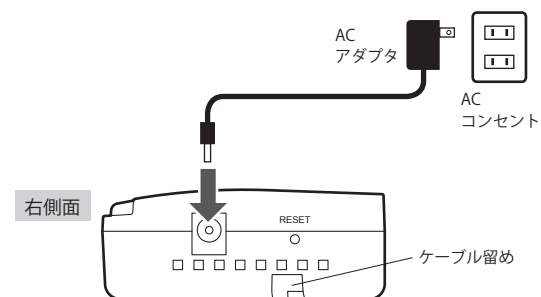
1 本製品を接続する

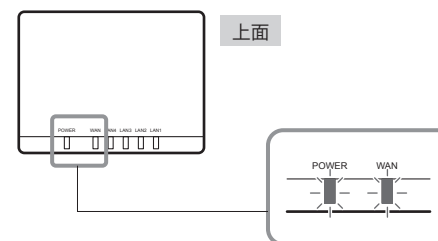
本製品をブロードバンドモデムなどと接続します。

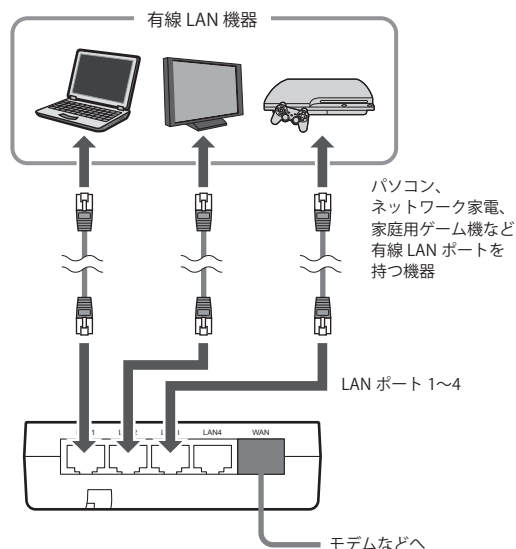
本製品を接続する

Yahoo!BBおよびCATVインターネット接続サービスの場合
モデムの電源をいったん切り、1時間以上そのまま置いてください。
電源スイッチがない場合は、ACプラグを抜いてください。モデムの電源をいったん切らないと、現在記憶されている接続情報がそのまま残り、本製品を接続したあとの新しい接続情報に更新されず、インターネットへの接続に失敗する恐れがあります。

1 モデム（またはONUやCTU）のLANポートと本製品のWANポートを、付属のLANケーブルでつなぎます。

2 モデム（またはONUやCTU）の電源をオンにします。

3 付属のACアダプタのプラグを本製品と接続し、アダプタ本体をACコンセントに接続します。

本製品には、ACアダプタのDCプラグが簡単に抜け落ちないように「ケーブル留め」が装備されています。ご使用になる場合は、DCプラグからのケーブルを、本製品の底面の溝に押し込み、ツメで固定してください。

4 モデム（またはONUやCTU）と、本製品の電源がオンになっていることを確認します。

- 本製品の場合、POWERランプ（緑色）とWANランプ（緑色）が点灯します。

5 **本製品のLANポート（1~4のいずれか）と、インターネットへ接続したい機器のLANポートを、LANケーブルで接続します。**

- 本製品には、LANケーブルは1本しか付属しません。不足分は別途ご用意ください。
- 有線LAN機器の同時接続は、4台以下を推奨します。5台以上接続したい場合は、スイッチングハブを別途ご用意下さい。

6 **P21「2.インターネットに接続する」へ進みます。**

2 インターネットに接続する

本製品と有線クライアントの接続が完了したら、インターネットに接続するための設定をします。

1 **本製品のLANポートに接続したパソコンのうち、いずれかのパソコンを起動します。**

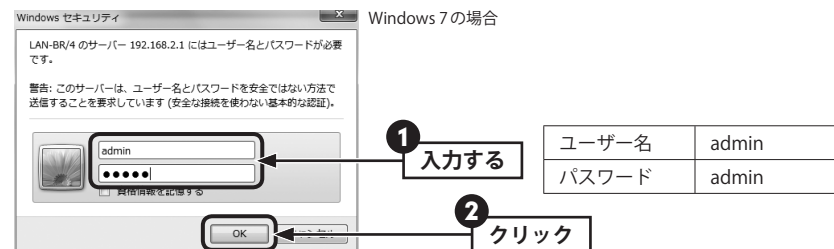
2 **Webブラウザの［アドレス］欄に、キーボードから「http://192.168.2.1」と入力し、キーボードの［Enter］キーを押します。**

- 認証画面が表示されます。

認証画面が表示されない場合
以下の順序で確認してみてください。
①本製品の電源が入っていることを確認してください。
②いったんパソコンを終了し、本製品の電源を入れて3分以上たってからパソコンの電源を入れてください。
パソコンよりも本製品が先に起動していないと、IPアドレスが正しく取得できないため接続できないことがあります。

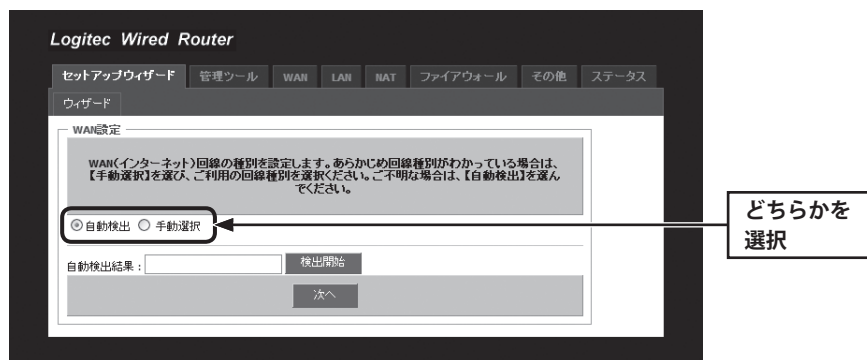
3 **本製品のユーザー名とパスワードを入力し、［OK］をクリックします。**

Windows 7の場合

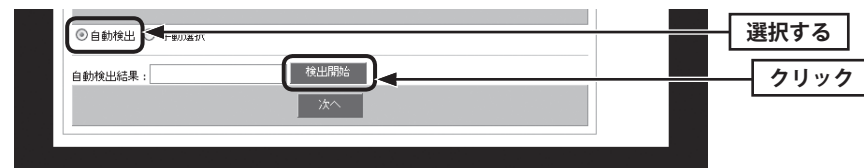
ユーザー名	admin
パスワード	admin

- 初期値は表のとおりです。半角英数字の小文字で入力します。
- 本製品の設定ユーティリティが表示されます。

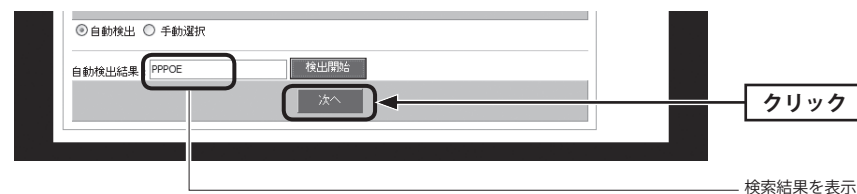
不特定多数の人が利用するような環境では、第三者に設定を変更されないように、パスワードの変更をお勧めします（→P31「装置全般 タブ（ログイン設定）」）。

4 **以下の画面が表示されたら、【セットアップウィザード】タブをクリックします。**

5 **インターネット（WAN）側への接続方法を選択します。**

自動検出	インターネット回線の種別がわからない場合に選択します。本製品が自動的にインターネット回線の種別を判断し、結果を表示します。
手動検出	インターネット回線の種別（DHCP接続、PPPoE接続、固定IP接続）がわかっている場合に選択します。

■「自動検出」を選択した場合

❶［自動検出］を選択し 検索開始 をクリックします。

❷ しばらくすると検索結果が表示されます。

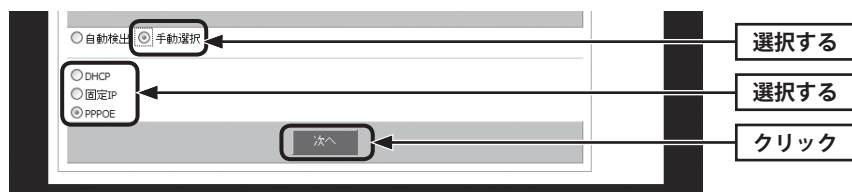
• 次へ をクリックし、手順 **6** へ進みます。

DHCP	Yahoo!BBや一般的なCATVインターネットの場合に選択します。プロバイダからIPアドレスが自動的に割り当てられます。設定は特に必要ありません。
固定IP	プロバイダから固定のIPアドレス（WAN側）を指定されている場合や、固定IPアドレスを利用するようオプションサービスを受けている場合に選択します。
PPPoE	NTTグループのフレッツシリーズをご利用の場合に選択します。プロバイダから提供されたユーザーIDとパスワードの入力が必要になります。 ※NTT西日本のフレッツ光プレミアムについては、有線ルータまでがセットになっており、本製品をご使用になる必要はありません。

「Abnormal」と表示された場合

プロバイダの資料から回線種別をご確認のうえ、［手動選択］で回線種別を選択してください。

■「手動選択」を選択した場合

❶［手動選択］を選択します。

❷ ご使用になるインターネット回線の種別を選択し、 次へ をクリックします。

回線種別については、『「自動検出」を選択した場合』の一覧をご参考ください。

❸ 手順 6 へ進みます。

6 回線種別にあわせて設定します。

■DHCPの場合

〈DHCP設定〉画面が表示されます。そのまま 完了 をクリックします。
手順 7 へ進みます

MACクローン機能について

インターネット側に本製品ではなく、パソコンのMACアドレスを通知します。パソコンのMACアドレスによって接続認証を行うようなCATVインターネット接続サービスで使用します。

①「MACクローン機能を使用する」をチェックします。

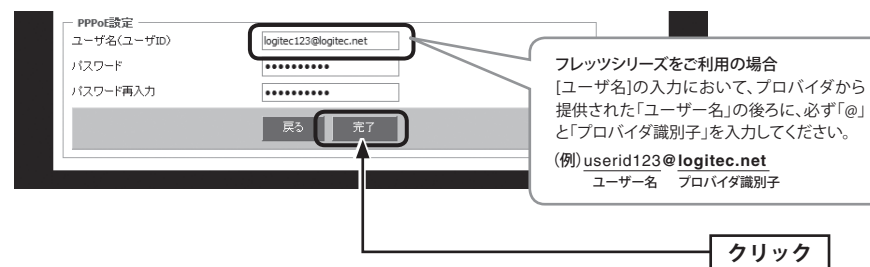
②［クローンMAC］に、認証に必要なMACアドレスを入力します。

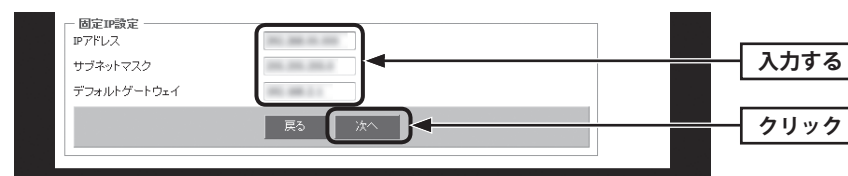
※認証に必要なMACアドレスを持つパソコンで設定ユーティリティを使用している場合は、［MACアドレス転送］をクリックすることで、パソコンのMACアドレスをコピーすることができます。

■PPPoEの場合

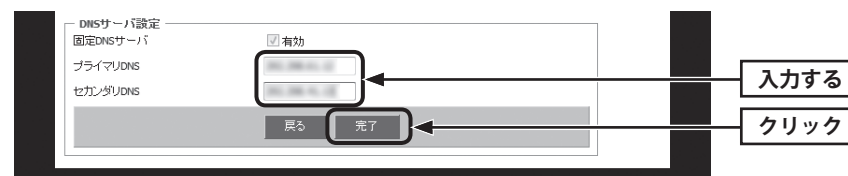
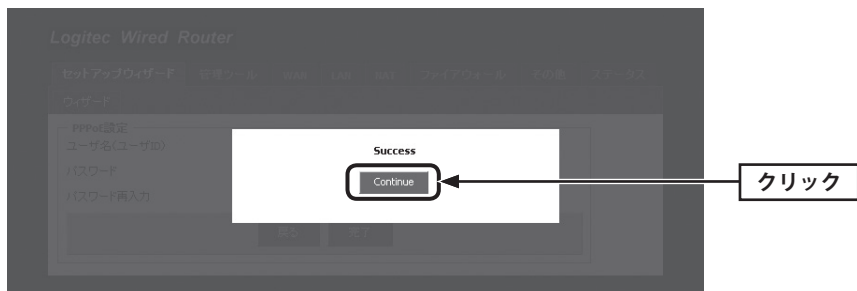
❶ プロバイダより提供されたユーザー名（ユーザID）を入力します。

❷「パスワード」と「パスワード再入力」にパスワードを入力します。

❸ 完了 をクリックします。手順 7 へ進みます。

■固定IPの場合

❶ プロバイダより提供された固定IPアドレス等を入力します。

❷ 次へ をクリックします。

❸ プロバイダより提供されたDNSのアドレスを入力します。

❹ 完了 をクリックします。手順 7 へ進みます。

7 「Success（成功）」と表示されれば設定は完了です。Continue をクリックします。

8 お好みのホームページを開きます。

ページが表示されるまで1、2分間かかる場合があります。

9 ページが正しく表示されたら作業はすべて完了です。

Chapter 3

詳細設定 編

1 設定ユーティリティ画面について

本製品の各種機能を設定するには、パソコンからWebブラウザを使って、本製品の設定ユーティリティに接続する必要があります。ここでは、簡単に本製品の設定ユーティリティに接続する方法を説明します。

設定ユーティリティ画面を表示する

1 **Internet ExplorerなどのWebブラウザを起動します。**

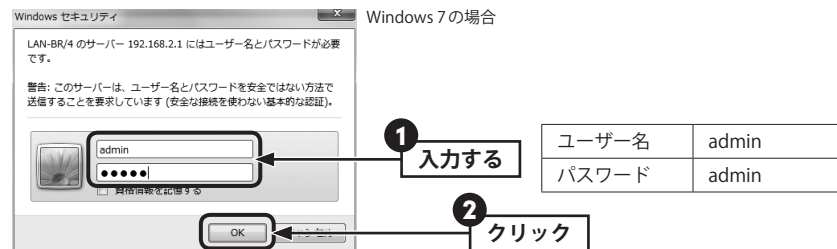
2 **Webブラウザの［アドレス］欄に、キーボードから「http://192.168.2.1」と入力し、キーボードの［Enter］キーを押します。**

• 認証画面が表示されます。

認証画面が表示されない場合
パソコンよりも本製品が先に起動していないと、IPアドレスが正しく取得できないため接続できないことがあります。認証画面が表示されない場合は、本製品の電源を入れて、約3分程度待ってから、パソコンの電源を入れてください。

3 **本製品のユーザー名とパスワードを入力し、OK をクリックします。**

Windows 7の場合

ユーザー名	admin
パスワード	admin

• 初期値は表のとおりです。半角英数字の小文字で入力します。
• 本製品の設定ユーティリティが表示されます。
• このあとは、必要に応じて該当の項目をお読みください。

不特定多数の人が利用するような環境では、第三者に設定を変更されないように、パスワードの変更をお勧めします（→P31「装置全般 タブ（ログイン設定）」）。

設定ユーティリティ画面の内容

メニュー項目	内容
セットアップウィザード	インターネット回線種別を選択するだけで、簡単にインターネットへの接続設定を完了できるウィザードです。回線種別が不明な場合は、自動で検出することもできます。（→P30）
管理ツール	本製品を管理するためのメニューです。装置全般（→P31）、システム（→P33）、ファームウェア更新（→P34）、設定保存/読込（→P35）、再起動（→P37）、ログアウト（→P38）があります。
WAN	本製品のWAN（インターネット）側の設定をするメニューです。（→P39）
LAN	本製品のLAN（ローカルネットワーク）側の設定をするメニューです。LAN側設定（→P43）、クライアント一覧（→P44）があります。
NAT	本製品のNAT機能について設定します。ポート転送（→P46）、DMZ（→P49）があります。
ファイアウォール	本製品にファイアウォール機能を設定できます。URLブロック（→P51）、MACアドレスフィルタ（→P53）があります。
その他	UPnP機能の設定（→P55）およびDDNSの設定（→P56）ができます。
ステータス	本製品のステータス情報（→P58）およびシステムログ（→P60）の確認ができます。

2 セットアップウィザード

インターネットに接続するための必要な設定をおこなう画面です。インターネット接続ウィザードの使い方は、P21「2.インターネットに接続する」をお読みください。

【セットアップウィザード】タブを選択します。

3 管理ツール

装置全般 タブ(ログイン設定)

本製品の設定ユーティリティにログインするためのユーザー名、パスワードの設定/変更およびログイン時の自動タイムアウトまでの時間を設定します。

【管理ツール】タブ→【装置全般】タブの順に選択します。

●パスワードの変更をお勧めします

設定ユーティリティへのパスワードが初期値のままだと、各種設定情報を自由に閲覧したり、パスワードを変更したりすることができます。設定ユーティリティのログインパスワードの変更をお勧めします。

●変更後のユーザー名とパスワードを忘れないでください

変更後のユーザー名とパスワードを忘れると、本製品を初期化する必要があります。すべての設定が初期化されますので、ユーザー名、パスワードは忘れないようにしてください。

●ログイン設定

ユーザ名	新しく設定するユーザー名を入力します。
現在のパスワード	現在のパスワードを入力します。
新しいパスワード	新しく設定するパスワードを入力します。
新しいパスワード（再入力）	新しく設定するパスワードを再度入力します。
ログインのタイムアウト	ログイン時に自動的にタイムアウトするまでの時間（60~3600秒）を設定します。タイムアウトしないように設定する場合は、「0」を入力します。（初期値:0）

設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず 設定 をクリックして設定を保存してください。正常に保存できた場合は「Success」と表示されます。Continue をクリックすると、設定画面に戻ります。

システム タブ

利用したいNTPサーバを設定したり、ルータ機能を無効にしたい場合に使用する画面です。

【管理ツール】タブ→【システム】タブの順に選択します。

●時刻設定

NTPサーバ	時刻設定に利用したいNTP（Network Time Protocol）サーバのIPアドレスを入力します。（初期値:210.173.160.27）

●動作モード

ルータ機能（NAPT機能）	この項目をチェックしている場合、本製品のルータ機能は有効です。チェックしていない場合は、ルータ機能が無効になり、4ポートスイッチングハブとしてご使用になれます。（初期値:有効）

ファームウェア更新 タブ

機能の充実や改良により、本製品のファームウェアをバージョンアップすることがあります。ファームウェアは、弊社Webサイトのサポートページよりダウンロードできます。

【管理ツール】タブ→【ファームウェア更新】タブの順に選択します。

ファームウェアの更新手順

❶ 弊社Webサイトなどから最新のファームウェアをダウンロードして、デスクトップなどに保存しておきます。
・ ダウンロード前に注意事項などがないか、ダウンロードページでご確認ください。
❷ 参考 をクリックします。
❸〈アップロードするファイルの選択〉画面が表示されますので、ダウンロードしたファイルを指定します。
❹ 実行 をクリックします。
❺ アップデートを確認するメッセージが表示されますので、 OK をクリックします。
❻「Upgrading! Please wait...」というメッセージのあと、待ち時間が表示されます。
・ 0秒になると、自動的に〈ステータス〉画面が表示されます。
❼ 設定ユーティリティ画面を閉じます。
❽ 本製品の背面にあるDCジャックからDCプラグを抜き差しして電源を入れ直します。本製品が再起動し、新しいファームウェアで動作するようになります。
・「日時」と「ファームウェアバージョン」に最新のファームウェアの情報が表示されます。

設定保存/読込 タブ

〈設定保存/読込〉画面では、設定の初期化（工場出荷時の状態に戻す）、設定の保存、設定の読込などができます。

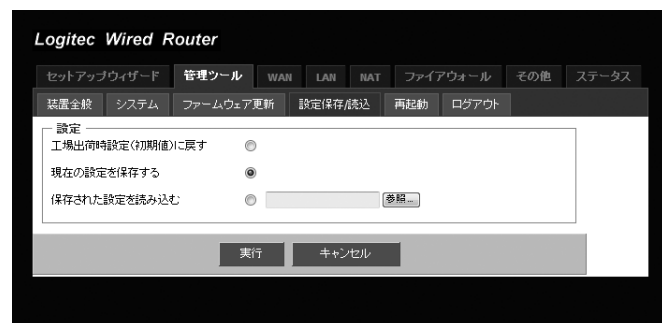
【管理ツール】タブ→【設定保存/読込】タブの順に選択します。

設定を初期化（工場出荷時の状態に戻す）する

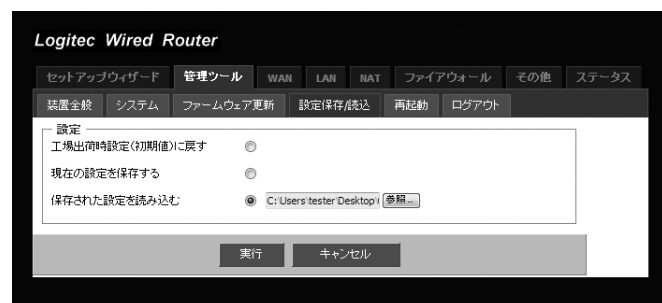
本製品の設定を初期化（工場出荷時の状態に戻す）します。ご購入後に変更した設定はすべて初期値に戻ります。必要に応じて初期化の前に設定をファイルに保存してください。

❶［工場出荷時設定（初期値）に戻す］を選択し、 実行 をクリックします。
❷ 工場出荷時の状態に戻してよいか、確認のメッセージが表示されますので OK をクリックします。
❸ 待ち時間が表示され、0秒になると、自動的に〈ステータス〉画面が表示されます。

設定の保存方法

本製品の設定情報をファイルとして保存できます。保存したファイルを読み込むことで、本製品の状態を、設定情報を保存した時点の状態にすることができます。

❶［現在の設定を保存する］を選択し、 実行 をクリックします。
❷〈ファイルのダウンロード〉画面が表示されますので、 保存 をクリックします。
❸〈名前を付けて保存〉画面が表示されますので、ファイルの保存場所を指定し、 保存 をクリックします。指定した場所に「xxxx-cdb.bin（xxxxは日付）」ファイルが保存されます。
❹〈ダウンロードの完了〉画面が表示されますので、 閉じる をクリックします。
〈設定保存/読込〉画面に戻ります。

設定の読み込み方法

保存した設定情報のファイルを読み込む方法です。

❶［保存された設定を読み込む］を選択し、 参照 をクリックします。
❷〈アップロードするファイルの選択〉画面が表示されますので、設定ファイルを指定します。

❸ 実行 をクリックします。
❹ 読み込みを実行してよいか、確認のメッセージが表示されますので、 OK をクリックします。
❺ しばらくすると「Rebooting!」と表示され、待ち時間が表示されます。
0秒になると、自動的に〈ステータス〉画面が表示されます。

再起動 タブ

本製品の動作が不安定になった場合など、システムを再起動したい場合に使用します。なお、設定を変更中に、この画面から再起動しても変更した内容は反映されません。

【管理ツール】タブ→【再起動】タブの順に選択します。

再起動の手順

❶ 再起動 をクリックします。
❷ しばらくすると「Rebooting!」と表示され、待ち時間が表示されます。
0秒になると、自動的に〈ステータス〉画面が表示されます。

ログアウト タブ

設定ユーティリティからログアウトします。1台のパソコンを複数のユーザーで使用している場合、ログインしたままだと、他の人が設定ユーティリティにアクセスすることができます。設定終了後もパソコンを起動しておく場合は、必ずログアウトしてください。

【管理ツール】タブ→【ログアウト】タブの順に選択します。

ログアウトの手順

❶「ログアウトしますか?」と表示されますので、OK をクリックします。
❷「ログアウトしました。」と表示されます。
・ 再度ログインするには、再ログイン をクリックします。このあとの操作はP28「設定ユーティリティ画面を表示する」をお読みください。

4 WAN側の設定をする

WAN側設定 タブ

本製品のWAN（インターネット）側の設定をします。[WAN（インターネット）回線]で、DHCP・固定IP・PPPoEのいずれを選択するかで、設定画面が異なります。

【WAN】タブを選択します。

●「DHCP」を選択した場合　※画面イメージは上記参照

項目	説明
MTU（576-1500）	MTU（Maximum Transmission Unit）、1回の転送で送信できるデータの最大値（単位はバイト）の値（576~1500）を設定します。通常は変更する必要はありません。（初期値:1454）
固定DNSサーバ	使用するDNSサーバのアドレスを固定（手動入力）する必要がある場合にチェックします。
プライマリDNS	DNSサーバのアドレスが1個しかない場合は、こちらにだけ入力します。2個ある場合は、こちらにプライマリのDNSアドレスを入力します。
セカンダリDNS	DNSサーバのアドレスが2個ある場合は、こちらにセカンダリのDNSアドレスを入力します。
MACクローン機能	インターネット側に本製品ではなく、パソコンのMACアドレスを通知する場合に、チェックします。パソコンのMACアドレスによって接続認証を行うようなケーブルテレビインターネット接続サービスで使用します。

MACアドレス	［MACクローン機能］をチェックしている場合、認証に使用するMACアドレスを入力します。
MACアドレス転送	このボタンをクリックすると、設定ユーティリティを開いているパソコンのMACアドレスを自動的にコピーします。

設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず 設定 をクリックして設定を保存してください。正常に保存できた場合は「Success」と表示されます。Continue をクリックすると、設定画面に戻ります。

●「固定IP」を選択した場合

IPアドレス	プロバイダから提供された情報を入力します。
サブネットマスク	
デフォルトゲートウェイ	
MTU（576-1500）	MTU（Maximum Transmission Unit）、1回の転送で送信できるデータの最大値（単位はバイト）の値（576~1500）を設定します。通常は変更する必要はありません。（初期値:1454）
固定DNSサーバ	固定IP接続では、「有効」固定です。
プライマリDNS	DNSサーバのアドレスが1個しかない場合は、こちらにだけ入力します。2個ある場合は、こちらにプライマリのDNSアドレスを入力します。
セカンダリDNS	DNSサーバのアドレスが2個ある場合は、こちらにセカンダリのDNSアドレスを入力します。

MACクローン機能	インターネット側に本製品ではなく、パソコンのMACアドレスを通知する場合に、チェックします。パソコンのMACアドレスによって接続認証を行うようなケーブルテレビインターネット接続サービスで使用します。
MACアドレス	［MACクローン機能］をチェックしている場合、認証に使用するMACアドレスを入力します。
MACアドレス転送	このボタンをクリックすると、設定ユーティリティを開いているパソコンのMACアドレスを自動的にコピーします。

設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず 設定 をクリックして設定を保存してください。正常に保存できた場合は「Success」と表示されます。Continue をクリックすると、設定画面に戻ります。

●「PPPoE」を選択した場合

ユーザ名（ユーザID）	プロバイダより提供されたユーザー名を入力します。フレッツシリーズの場合、ユーザー名のあとに、「@」とご契約のプロバイダの識別子を入力する必要があります。 （例） userID123@logitec.ent ユーザー名　プロバイダ識別子
パスワード	プロバイダより提供されたパスワードを入力します。
パスワード再入力	プロバイダより提供されたパスワードを再度入力します。

MTU（546-1492）	MTU（Maximum Transmission Unit）、1回の転送で送信できるデータの最大値（単位はバイト）の値（546~1492）を設定します。通常は変更する必要はありません。（初期値:1454）
固定DNSサーバ	使用するDNSサーバのアドレスを固定（手動入力）する必要がある場合にチェックします。
プライマリDNS	DNSサーバのアドレスが1個しかない場合は、こちらにだけ入力します。2個ある場合は、こちらにプライマリのDNSアドレスを入力します。
セカンダリDNS	DNSサーバのアドレスが2個ある場合は、こちらにセカンダリのDNSアドレスを入力します。
MACクローン機能	インターネット側に本製品ではなく、パソコンのMACアドレスを通知する場合に、チェックします。パソコンのMACアドレスによって接続認証を行うようなケーブルテレビインターネット接続サービスで使用します。
MACアドレス	［MACクローン機能］をチェックしている場合、認証に使用するMACアドレスを入力します。
MACアドレス転送	このボタンをクリックすると、設定ユーティリティを開いているパソコンのMACアドレスを自動的にコピーします。

設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず［設定］をクリックして設定を保存してください。正常に保存できた場合は「Success」と表示されます。［Continue］をクリックすると、設定画面に戻ります。

5 LAN側の設定をする

本製品のLAN（ローカルネットワーク）側のIPアドレス情報、DHCPサーバに関する設定をします。

LAN側設定 タブ

【LAN】タブ→【LAN側設定】タブの順に選択します。

IPアドレス	本製品のLAN側のIPアドレスを入力します。初期値は「192.168.2.1」です。
サブネットマスク	使用中のネットワークのサブネットマスクを表示します。
DHCPサーバ	DHCPサーバ機能を利用する場合は［Enabled］をチェックします。IPアドレスを固定にする場合はチェックをはずします。初期値は「Enabled（有効）」です。
DHCP開始IPアドレス DHCP終了IPアドレス	DHCPサーバ機能を利用する場合、DHCPサーバがクライアントに自動的に割り付けるIPアドレスの範囲を指定します。 開始アドレス~終了アドレスの範囲でクライアントにIPアドレスが自動的に割り当てられます。
IPアドレスリース時間	DHCPサーバによりクライアントに割り当てられるIPアドレスのリース時間を設定します。「恒久」に設定した場合、クライアントには継続的に同じIPアドレスが割り当てられます。

設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず［設定］をクリックして設定を保存してください。正常に保存できた場合は「Success」と表示されます。［Continue］をクリックすると、設定画面に戻ります。

クライアント一覧 タブ

DHCPサーバ機能を有効にしている場合、クライアントには自動的にIPアドレスが割り当てられます。しかし、クライアントのネットワーク機器によっては、特定のIPアドレスを割り当てたい場合があります。クライアントのMACアドレスと指定したいIPアドレスを関連付けて登録することでIPアドレスを固定することができます。

【LAN】タブ→【クライアント一覧】タブの順に選択します。

●クライアント一覧

固定DHCPリース設定で登録した内容をリストで表示します。

ホスト名	クライアントのホスト名が表示されます。[固定DHCPリース設定]で、お好みの名称を付けた場合は、その名称が表示されます。
IPアドレス	クライアントに割り当てたIPアドレスです。
MACアドレス	IPアドレスを固定したクライアントのMACアドレスです。
残り時間	IPアドレスを自動割り当てしている場合に、そのIPアドレスを開放するまでの残り時間を表示します。
固定DHCP	ここをチェックしたクライアント（ホスト名）のIPアドレスを、現在表示中のIPアドレスで固定します。

●固定DHCPリース設定

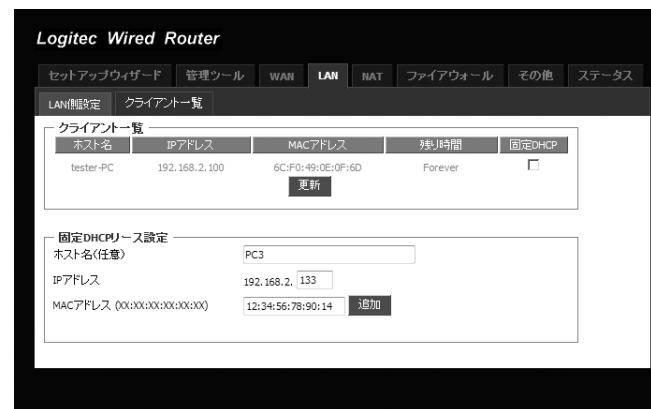
ホスト名（任意）	クライアントを区別しやすいように、ホスト名として、お好きな名前を付けることができます。
IPアドレス	クライアントに割り当てるIPアドレスを入力します。IPアドレスの3ブロック目までは現状の設定が自動的に表示されますので、4ブロック目のIPアドレスのみ入力します。
MACアドレス	クライアントのMACアドレスを入力します。

●ボタンの機能

更新	クライアントリストを更新します。
追加	IPアドレスを固定したいクライアントを登録します。

設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず 設定 をクリックして設定を保存してください。正常に保存できた場合は「Success」と表示されます。Continue をクリックすると、設定画面に戻ります。

クライアントの登録方法

❶ 必要に応じて、[ホスト名（任意）]にクライアントの名称を入力します。
❷ クライアントに割り当てたいIPアドレスの4ブロック目を入力します。
❸ クライアントのMACアドレスを入力します。「:」で区切る必要があります。
例 12:34:45:78:90:13
❹ 追加 をクリックします。
❺ 登録するクライアントが複数ある場合は、❶～❹を繰り返します。

6 NAT機能を設定する

本製品のNAT機能について設定します。NAT機能の設定には、NATやNAT機能を使ったさまざまなサービスについての知識が必要になります。設定を変更する場合は十分にご注意ください。

ポート転送 タブ

ポート転送（ポートフォワード）機能を設定します。通常NAT変換を利用するルータでは、WAN（インターネット）側からLAN上のコンピュータにアクセスすることはできませんが、この機能を利用することで、LAN上にある指定されたコンピュータをWAN側に開放することができます。

この機能を利用する場合で本製品のDHCPサーバ機能を有効にしているときは、P44の【クライアント一覧】タブで、「固定DHCPリース設定」機能を使ってIPアドレスを固定するようにしてください。DHCPサーバ機能により動的にIPアドレスが変更されると、意図しないコンピュータがWAN側に開放される恐れがあります。

【NAT】タブ→【ポート転送】タブの順に選択します。

●設定の内容

項目	内容
有効	登録するクライアントの情報に、ポート転送機能の有効/無効を設定します（初期値:無効）。登録する内容が有効になり、ポート転送一覧でチェックマークが付きます。
コメント	メモなど任意の文字を入力できます。
ローカルIPアドレス	ポート転送をするクライアントのローカルIPアドレスの4ブロック目を入力します。
パケットタイプ・ポート範囲	［Type］でプロトコルを選択します。（初期値:TCP） ポート範囲の入力欄には、インターネット側から見た送信先のポート番号の範囲を入力します。 例:21,80,10000-10050

●ポート転送一覧

入力画面で設定した内容をリストとして表示します。アイコンをクリックすると、登録したクライアントの情報を編集することができます。アイコンをクリックすると、登録したクライアントの情報が削除されます。

●ボタンの機能

ボタン	機能
追加	入力したクライアントの情報をリストに追加します。
修正	編集した情報をリストに反映します。

設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず［設定］をクリックして設定を保存してください。正常に保存できた場合は「Success」と表示されます。［Continue］をクリックすると、設定画面に戻ります。

ポート転送の設定方法

❶ [有効]をチェックします。
❷ 必要に応じて、[コメント]にコメントを入力します。
❸ [ローカルIPアドレス]に、クライアントの（ローカル）IPアドレスの4ブロック目を入力します。
❹ [パケットタイプ・ポート範囲]の[Type]でプロトコルのタイプを選択し、ポート範囲の入力欄に、インターネット側から見た送信先のポート番号の範囲を入力します。
例:21,80,10000-10050
❺ 追加 をクリックします。
❻ 登録するクライアントが複数ある場合は、❶～❺を繰り返します。

※ 設定 をクリックして保存操作をしたのちに、設定が反映されます。

DMZタブ

通常、NAT変換を利用するルータでは、WAN（インターネット）側からLAN上のパソコンにアクセスすることはできません。DMZ機能を使用すると、指定したコンピュータにWAN側からアクセスできるようになります。これにより、LAN上からは通常使用できない双方向通信を利用したサービスを利用できます。

【NAT】タブ→【DMZ】タブの順に選択します。

●設定の内容

有効	DMZを使用する場合はチェックします。（初期値:オフ）
公開IPアドレス	インターネット（外部）に公開するWAN側IPアドレスを選択します。
クライアントPC IPアドレス	インターネット（外部）から接続を許可するLAN上のパソコンの（ローカル）IPアドレスの4ブロック目を入力します。
このパソコンのIPアドレスを使用する。	現在、設定ユーティリティに接続しているパソコンのIPアドレスを「クライアントPC IPアドレス」として使用する場合に、チェックします。

●DMZ一覧

入力画面で設定した内容をリストとして表示します。アイコンをクリックすると、登録したクライアントの情報を編集することができます。アイコンをクリックすると、登録したクライアントの情報が削除されます。

●ボタンの機能

追加	設定した内容を登録します。
修正	編集した情報をリストに反映します。

設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず 設定 をクリックして設定を保存してください。正常に保存できた場合は「Success」と表示されます。Continue をクリックすると、設定画面に戻ります。

DMZの設定方法

❶ ［有効］をチェックします。
❷ ［公開IPアドレス］で公開するWAN側IPアドレスを選択します。
❸ ［クライアントPC IPアドレス］に、インターネットから接続するLAN上のコンピュータの（ローカル）IPアドレスの4ブロック目を入力します。
❹ 追加 をクリックします。
❺ 登録するクライアントが複数ある場合は、❶～❹を繰り返します。

※ 設定 をクリックして保存操作をしたのちに、設定が反映されます。

7 ファイアウォール機能を設定する

ネットワーク環境を安全で快適に使用できるように、各種ファイアウォールを設定できます。

URLブロック タブ

特定のWebサイトのURLを設定することで、ホームページの閲覧を制限します。
ここに登録されたURLへの接続を拒否したり、登録されたURLへの接続のみを許可したりできます。

【ファイアフォール】タブ→【URLブロック】タブの順に選択します。

●設定の内容

URLブロック許可/拒否設定	登録したURLへの接続を拒否するか許可するかを設定します。（初期値：無効）
クライアントIPアドレス	拒否または許可するURLを登録するクライアントのローカルIPアドレスの範囲を設定します。IPアドレスの4ブロック目のみを入力します。
ブロックするURLの文字列	クライアントへのアクセスを拒否または許可するURLの文字列を入力します。
有効化	チェックすると登録する内容が有効になり、URLブロック一覧でチェックマークが付きます。

●URL ブロック一覧

入力画面で設定した内容をリストとして表示します。アイコンをクリックすると、登録したクライアントの情報を編集することができます。アイコンをクリックすると、登録したクライアントの情報が削除されます。

●ボタンの機能

追加	入力したクライアントの情報をリストに追加します。
修正	編集した情報をリストに反映します。

設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず 設定 をクリックして設定を保存してください。正常に保存できた場合は「Success」と表示されます。Continue をクリックすると、設定画面に戻ります。

URLの登録方法

❶［URLブロック拒否/許可設定］で、［拒否］または［許可］を選択します。
❷［クライアントIPアドレス］に、拒否または許可するURLを登録するクライアントのローカルIPアドレスの範囲を設定します。
❸［ブロックするURLの文字列］に、登録したいURLの文字列を入力します。
❹［有効化］をチェックして、設定を有効にします。
❺ 追加 をクリックします。
❻ 登録するクライアントが複数ある場合は、❶～❺を繰り返します。

※ 設定 をクリックして保存操作をしたのちに、設定が反映されます。

MACアドレスフィルタ タブ

本製品に接続するクライアントのアクセスをコントロールします。ここに登録されたMACアドレスを持つクライアントが本製品へ接続することを拒否または許可できます。第三者の不正アクセスの防止などに役立ちます。

【ファイアフォール】タブ→【MACアドレスフィルタ】タブの順に選択します。

●設定の内容

MACアドレスフィルタ許可/拒否設定	登録したMACアドレスを持つクライアントから本製品への接続を拒否するか許可するかを設定します。（初期値:無効）
MACアドレス	本製品への接続を拒否または許可するクライアントのMACアドレスを入力します。
メモ	自由にコメントを入力できます。登録したクライアントを区別するのに便利です。

●MACアドレスフィルター覧

入力画面で設定した内容をリストとして表示します。アイコンをクリックすると、登録したクライアントの情報を編集することができます。アイコンをクリックすると、登録したクライアントの情報が削除されます。

●ボタンの機能

追加	入力したMACアドレスの情報をリストに追加します。
修正	編集した情報をリストに反映します。

設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず 設定 をクリックして設定を保存してください。正常に保存できた場合は「Success」と表示されます。Continue をクリックすると、設定画面に戻ります。

クライアントの登録方法

❶ [MACアドレスフィルタ許可/拒否設定]で、[拒否]または[許可]を選択します。
❷ [MACアドレス]に、クライアントのMACアドレスを入力します。「:」で区切る必要があります。
例 12:34:45:78:90:13
❸ クライアントを区別するための名称など、コメントを自由に入力することができます。
❹ 追加 をクリックします。
❺ 登録するクライアントが複数ある場合は、❶~❹を繰り返します。

※ 設定 をクリックして保存操作をしたのちに、設定が反映されます。

8 UPnP機能/DDNSを設定する(その他)

UPnP機能やDDNSに関する設定ができます。

UPnP タブ

UPnP (Universal Plug and Play)機能を有効にするか、無効にするかを選択します。

【その他】タブ→【UPnP】タブの順に選択します。

●設定の内容

UPnP機能	UPnP (Universal Plug and Play) 機能の有効/無効を設定します。UPnPを有効にすると、UPnP対応OSでUPnP対応ネットワーク機器を使用した場合に、自動的にLAN内の装置を検出して、正常に認識できるようにします。(初期値:無効)
通知時間	ルータの存在をUPnP機能でLAN内に通知する時間の間隔を設定します。
ステータスの更新	ステータス情報を更新します。

●ステータス情報

現在のステータスを表示します。ステータスの内容を更新するときは、更新 をクリックします。

設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず 設定 をクリックして設定を保存してください。正常に保存できた場合は「Success」と表示されます。Continue をクリックすると、設定画面に戻ります。

DDNS タブ

DDNS（ダイナミックDNS）を利用すると、WAN側が固定IPアドレスでなくても、ホスト名を使ってサーバなどを利用できるようになります。この機能を利用するには、ダイナミックDNSのサービス提供者に登録する必要があります。ダイナミックDNSはサービスリストに表示されるサービスでご利用いただけます。

●あらかじめDDNSサービスに登録しておいてください
DDNSサイトにアクセスしてユーザー登録し、ドメイン名やアカウントなどを取得しておいてください。

●DDNSサービスを利用するにあたって

- DDNSサービスへの登録については､弊社のサポート対象外となります。登録に関しては､一切責任を負いかねます。
- Clear-net（クリアネットサービス）とは、対象の弊社製品をユーザー登録してご利用いただいている方に無償で提供されるダイナミックDNSサービスです。クリアネットサービスへの登録については、弊社ホームページで詳細をご確認のうえ、ご利用ください。
- DDNSサービスによっては、定期的に更新をしないと登録が削除されてしまうことがあります。登録の更新は、本製品がインターネットに接続されているときに自動的におこなわれるほか、手動で更新する場合もあります。更新期間などの詳細はご利用になるDDNSサイトをご覧ください。

【その他】タブ→【DDNS】タブの順に選択します。

●設定の内容

DDNS機能	DDNS機能の有効/無効を設定します。
ホスト名	登録したドメイン名を入力します。
DDNSサーバ（プロバイダ）	リストから登録したサービスを選択します。
ユーザ名（アカウント）	登録したアカウントを入力します。DDNSサービスによってはアカウントがEメールアドレスの場合があります。
パスワード	設定したパスワードまたはキーを入力します。

●ボタンの機能

DDNS Status	DDNSサービスのステータス情報を表示します。

設定を変更した場合
設定を変更した場合は、必ず［設定］をクリックして設定を保存してください。正常に保存できた場合は「Success」と表示されます。［Continue］をクリックすると、設定画面に戻ります。

9 ステータス

ステータス タブ

本製品に関するさまざまなステータス情報を確認することができます。

【ステータス】タブ→【ステータス】タブの順に選択します。

●ゲートウェイ

IPアドレス	本製品のLAN側のIPアドレスを表示します。
サブネットマスク	本製品のLAN側のサブネットネットマスクを表示します。
DHCPサーバ	本製品のDHCPサーバ機能が有効か無効かを表示します。
ルータ機能	本製品のルータ機能が有効か無効かを表示します。
ファイアウォール	本製品のファイアウォール機能が有効か無効かを表示します。

●インターネット接続状態

接続状態	インターネットへの接続状況を表示します。
IPアドレス	WAN（インターネット）側のIPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを、それぞれ表示します。
サブネットマスク	
デフォルトゲートウェイ	
DNSアドレス	接続先のプライマリDNSを表示します。
2nd DNSアドレス	接続先のセカンダリDNSを表示します。
ドメイン名	ドメイン名を表示します。
接続タイプ	現在の接続方式を表示します。
接続時間	インターネットに接続している時間を表示します。

●装置情報

装置起動時間	本製品の起動後の経過時間を表示します。電源を切ったり、再起動するとリセットされます。
日時	ファームウェアの作成日を表示します。
接続クライアント数	本製品に接続中のクライアント数を表示します。
ファームウェアバージョン	ファームウェアのバージョンを表示します。
LAN側MACアドレス	本製品のLAN側のMACアドレスを表示します。
WAN側MACアドレス	本製品のWAN側のMACアドレスを表示します。

ログ タブ

本製品のシステムログを記録することができます。また、ログはファイルとして保存することもできます。

【ステータス】タブ→【ログ】タブの順に選択します。

●各ボタンの機能

先頭ページ	ログの表示ページを切り替えます。
前のページ	
次のページ	
最終ページ	
ログのダウンロード	ログをダウンロードして保存できます。このボタンをクリックすると、〈ファイルのダウンロード〉画面が表示されますので、保存先などを指定して、ログを保存します。
ログクリア	現在、本製品上に保存されているログを、すべて消去します。
更新	表示中のログを最新の情報に更新します。

Appendix

付録編

1 こんなときは

一般的なトラブル

●インターネットに接続できない。

①TCP/IP プロトコルが正しく設定されているかを確認してください。
〈ネットワーク〉画面でTCP/IP プロトコルが設定されているかを調べてください。見あたらない場合は、TCP/IP プロトコルを追加してください。

②DHCPサーバ機能を使用していない場合は、IPアドレスを手動で割りあててください。
TCP/IPのプロパティにある〈IPアドレス〉タブで設定します。

③TCP/IP プロトコルの設定が正しいかを確認してください。
プロバイダによって、IPアドレスを自動取得する場合と固定IPアドレスを指定する場合があります。プロバイダから提供されるマニュアルで確認の上、正しい設定をおこなってください。

④プロバイダから提供された情報をすべて設定したかを確認してください。
IPアドレス以外にも、識別情報の指定などが必要なことがあります。プロバイダから提供されるマニュアルで確認の上、正しい設定をおこなってください。

●本製品の設定は正常に終了したが、ネットワークパソコンを開くと「ネットワークを参照できません。」のエラーが表示される。

①正常にネットワークの設定ができていない可能性があります。もう一度、デバイスマネージャなどで本製品の設定を確認し、OS側が本製品を正常に認識しているか調べてください。

●他のパソコンのファイルやプリンタの共有ができない。

①ネットワーク設定をしましたか?
ネットワーク設定ができていないとファイルの共有やプリンタの共有はできません。

2 パソコンのIPアドレスの確認方法

本製品の設定ユーティリティにアクセスできない場合に、本製品の設定ユーティリティにアクセスするパソコンのIPアドレスがどのようになっているかを確認する方法を説明します。
ここで説明しているIPアドレスの確認方法は、本製品に接続する無線子機および有線クライアントのIPアドレスを確認するときにも使用できます。

パソコンのIPアドレスを表示する

Windows 7/Vistaの場合

❶ [スタート]→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[コマンドプロンプト]の順にクリックします。

❷ 〈コマンドプロンプト〉画面が表示されます。「>」のあとにカーソルが点滅している状態で、キーボードから「ipconfig」と入力し、[Enter]キーを押します。

```
Microsoft Windows [Version 6.0.60000]
Copyright (c) 2006 Microsoft Corporation.  All rights reserved.

C:Users¥master>ipconfig
```

※入力する文字は半角英数字です。入力ミスをした場合は、[BackSpace]キーを押して間違った文字のところまで削除して戻ります。このとき、途中の文字だけを削除することはできません。
「"xxx"は、内部コマンド･･･」と表示された場合は、入力ミスです。もう一度入力してください。

❸ 「イーサネット　アダプタ　ローカル　エリア接続※」の「IPv4アドレス」に現在のIPアドレス「192.168.xxx.xxx」が表示されます(xxxは任意の数字)。

```
イーサネット　アダプタ　ローカル　エリア接続:

接続固有の DNS サフィックス . . . :
リンクローカル IPv6 アドレス. . . . : fe80::b0ac:15cf:beb9:d431%8
IPv4 アドレス . . . . . . . . . : 192.168.2.100
サブネット マスク . . . . . . . . : 255.255.255.0
デフォルト ゲートウェイ . . . . . : 192.168.2.1
```

※本製品に接続している有線クライアントの種類によって表記は異なります。

Windows XP/2000の場合

❶［スタート］→［(すべての) プログラム］→［アクセサリ］→［コマンドプロンプト］の順にクリックします。

❷〈コマンドプロンプト〉画面が表示されます。「>」のあとにカーソルが点滅している状態で、キーボードから「ipconfig」と入力し、［Enter］キーを押します。

```
コマンド プロンプト
Microsoft Windows XP [Version 5.1.2600]
(C) Copyright 1985-2001 Microsoft Corp.

C:¥Documents and Settings¥main-user>ipconfig
```

※入力する文字は半角英数字です。入力ミスをした場合は、［BackSpace］キーを押して間違った文字のところまで削除して戻ります。このとき、途中の文字だけを削除することはできません。
「"xxx"は、内部コマンド･･･」と表示された場合は、入力ミスです。もう一度入力してください。

❸「イーサネット　アダプタ　ローカル　エリア接続※」の「IP Address」に現在のIPアドレス「192.168.xxx.xxx」が表示されます（xxxは任意の数字）。

```
Windows IP Configuration

Ethernet adapter ローカル エリア接続:

        Connection-specific DNS Suffix  . :
        IP Address. . . . . . . . . . . . : 192.168.1.145
        Subnet Mask . . . . . . . . . . . : 255.255.255.0
        Default Gateway . . . . . . . . . : 192.168.1.254
```

※本製品に接続している有線クライアントの種類によって表記は異なります。

3 製品仕様/おもな初期値

WAN/有線LAN部

規格	IEEE802.3u（100BASE-TX）、IEEE802.3（10BASE-T）、IEEE802.3x（Flow Control）
コネクタ	LAN：RJ-45×4ポート、WAN：RJ-45×1ポート
Auto MDI/MDIX	対応
オートネゴシエーション	対応

ルータ部

ルーティング対応プロトコル	TCP/IP
インターネット（WAN）接続方式	PPPoE認証接続、IPアドレス自動取得接続、IPアドレス固定接続
LAN接続方式設定	DHCPサーバ（有効/無効）、固定IPアドレス（手動設定）
セキュリティ	MACアドレスフィルタリング（許可/拒否）
ローカルサーバ機能	ポートフォワーディング、仮想DMZ
ダイナミックDNS（DDNS）	クリアネット（ロジテック提供サービス）、DynDNS等

一般仕様

消費電力（定格）	3.5W
外形寸法	幅94×奥行70×高さ20.8mm
質量	約70g

●設定ユーティリティの工場出荷時の設定値

ログイン時のユーザー名とパスワード	ユーザー名：admin パスワード：admin

●有線LAN関係の工場出荷時の設定値（初期値）

LAN側IPアドレス	192.168.2.1（255.255.255.0）
DHCPサーバ機能	DHCPサーバ機能：有効 割り当てIPアドレス：192.168.2.100~192.168.2.200 デフォルトゲートウェイ：有線ルータのLAN側IPアドレス DNSサーバの通知：有線ルータのLAN側IPアドレス

100BASE-TX/10BASE-T有線ルータ　LAN-BR/4
ユーザーズマニュアル

発行 　2010年8月3日　第1版